

放送部門オーディオピ
シオドラマに合わせて
生炭鉱水没事故を題材
市であった。(赤川)
特に定めていないが、

SNS稼働へ勉強会

市民活動 リーダー 地域活性化の可能性探る

地域住民がインターネット上で情報交換ができるソーシャル・ネットワークキング・サービス(SNS)の稼働を目指している宇部市は十二日、兵庫県のS

NS「ひよこむ」を運営する和崎宏さん(姫路市)を招き、市役所で勉強会を開いた。市民活動のリーダーなど二十五人が参加。地域活性化のツールとしての可能性を探った。

SNSは従来のインターネット掲示板などに比べ、安全性と信頼性が確保されている点

が特徴で、会員になるには、既存の会員からの招待を必要とする。特に地域SNSは、きめ細かな防災・防犯情報提供や地域の間関係づくりの有効との事例が出ており、まちづくりの道具として注目を集め、全国で二百件が運用している。宇部市は財団法人地

域活性化センターの合併市町村地域資源活用事業助成金(設備整備型、上限一千万円)を活用して、今年度中に地域SNSを本格稼働する予定。近く準備委員会を設立し、市民の声を生かしたSNS作りに着手する。

二〇〇六年に開始し、現在も活発に情報交換が行われている「ひよこむ」を運営する和崎さんは「従来のネットコミュニティでは情報が拡散・偏在しやすい。地域SNSは、実社会とネットが程よく補完し合い、顔の見える協働へと展開できる。信頼と愛着の持てる地域基盤となりうる」とした。



兵庫県の地域SNS「ひよこむ」について話す和崎さん(市役所で)

参加者からは「手軽に利用できるよう携帯電話からのアクセスは可能か」「SNSの作り方や運営方法はどつやるのか」などの質問が出た。(佐野)

山口宇部空港ビル

義援金

岩手・宮城内

山口宇部空港ビル

(前田隆康社長)は十二日、県共同募金会宇部支会(藤田昭一支会